

マーケットフォーカス(欧州市場) 2018年1月号

2018年1月10日

市場概況・今後の見通し

【12月の市場概況】

<株式>

ドイツDAX指数は続落しました。米税制改革案成立への期待から一時上昇したものの、ユーロ高傾向に加えて、ドイツやイタリアの政局不透明感の高まりが重石となりました。

英FTSE100指数は過去最高値を更新しました。英国がEU(欧州連合)との離脱交渉において条件面で大筋合意したことが好感されたほか、金属価格や原油先物の上昇を背景に鉱業株、石油株が指数を牽引しました。

<為替>

ユーロはドイツなどユーロ圏の国債利回りの上昇で日欧長期金利差の拡大が意識され、上昇しました。

英ポンドは英国のEU離脱交渉の行方を巡ってもみ合い推移となったものの、月末にかけてユーロに連れ高する展開となりました。

【今後の見通し】

ユーロ圏では製造業、サービス業ともに景況感指標が一段の改善を示しており、先行きも景気回復が続く見込みです。

英国では物価上昇による購買力の低下やEU離脱後の通商協定を巡る不透明感などが、引き続き家計や企業のマインドの重石となりそうです。

<株式>

ユーロ圏ではユーロ高傾向や域内の政局不透明感などが重石となるものの、米国株式の上昇や欧州景気の拡大を背景に底堅い推移が続く見込みです。

英国では引き続き商品市況や英ポンドの動向に左右される展開を見込みます。

<為替>

ユーロはECB(欧州中央銀行)による量的金融緩和が先行き終了すると警戒感が根強くすぶっており、底堅い推移が続く見込みです。

英ポンドはEU離脱交渉の進捗状況や追加利上げのタイミングをにらみつつ、方向感の出づらいつつ展開が続く見込みです。

主要株式市場・為替市場の推移(2012年12月末～2017年12月末)



【12月のマーケットデータ】

		12月末	11月末	騰落率	最低	最高
株式	DAX(ドイツ)	12,917.64	13,023.98	▲0.82%	12,861.49	13,312.30
	FTSE100(英)	7,687.77	7,326.67	4.93%	7,300.49	7,687.77
為替	ユーロ/円	134.94	132.81	1.60%	132.50	134.94
	英ポンド/円	151.95	150.33	1.08%	150.30	152.57

※為替のデータは本邦営業日ベース、為替の騰落率はプラスは円安、マイナス(▲)は円高

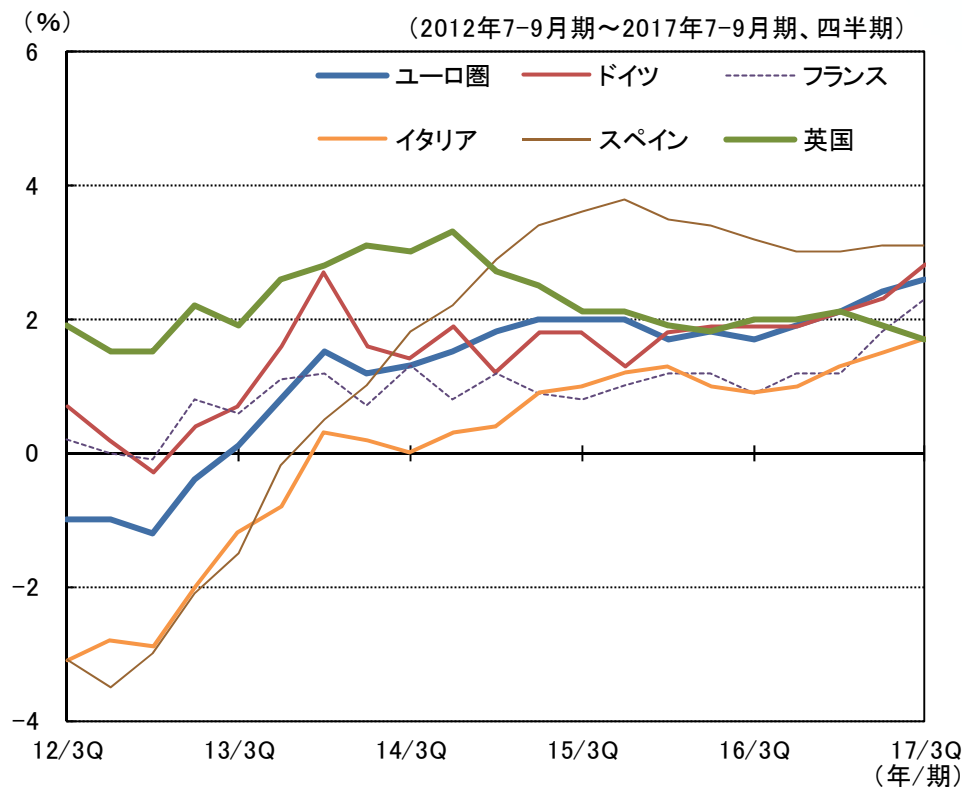
(出所)Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州経済①

○2017年7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率(確報値)は、ユーロ圏が前年同期比+2.6%(前期比+0.6%)。英国は同+1.7%(同+0.4%)。

○ユーロ圏消費者信頼感指数(12月)は前月比+0.5の0.5、5カ月連続で上昇。景況感指数(12月)は同+1.4の116.0、7カ月連続で上昇。

実質GDP成長率(前年同期比)



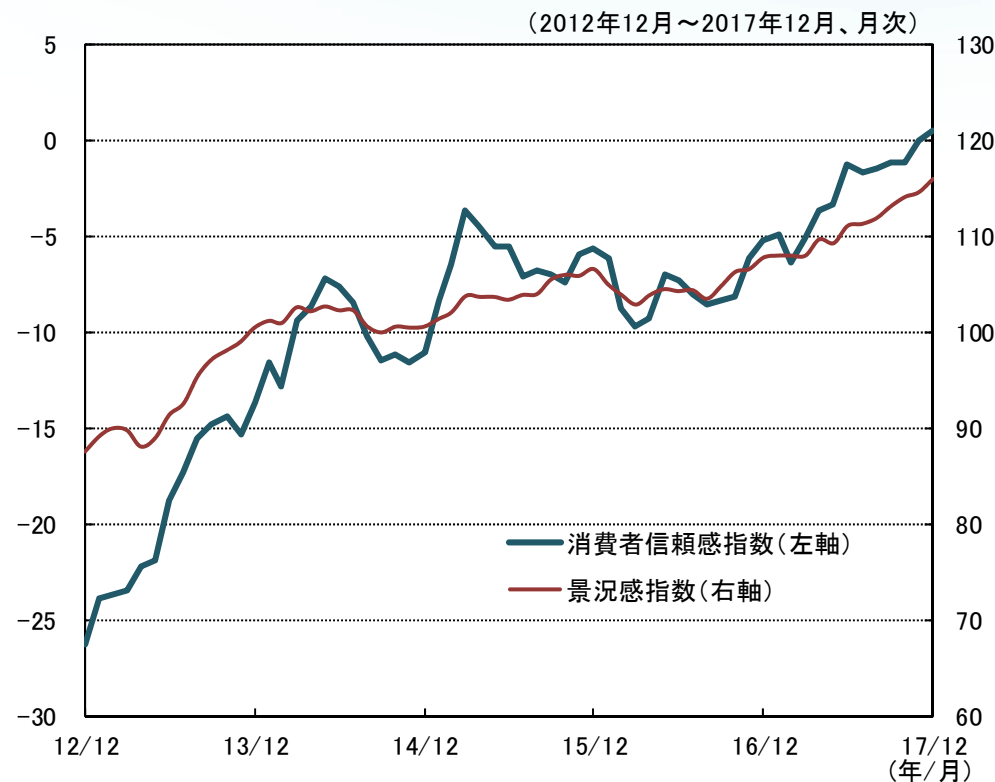
※3Qは7-9月期を意味し、例えば12/3Qは2012年7月から9月の3カ月間を示す。

※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース。

※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州委員会マインド関連指標(ユーロ圏)



※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

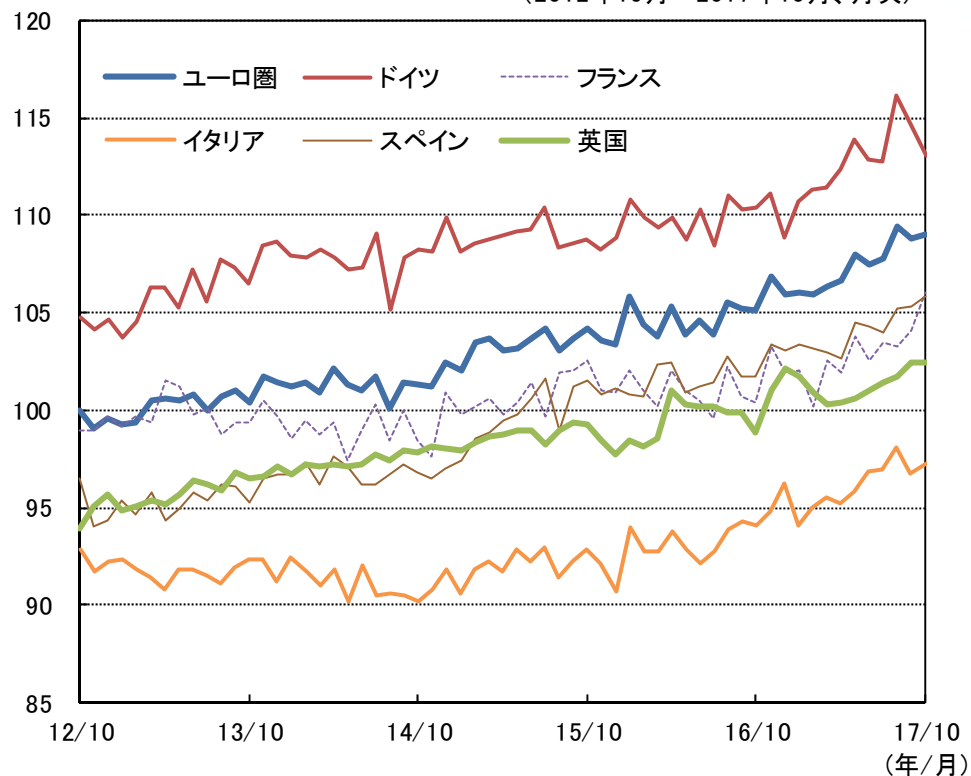
欧州経済②

○鉱工業生産指数は、ユーロ圏(10月)が前月比+0.2%、2カ月ぶりに上昇。英国(10月)は前月比横ばい、7カ月ぶりに上昇が一服。

○小売売上高指数は、ユーロ圏(11月)が前月比+1.5%、2カ月ぶりに上昇。英国(11月)は前月比+1.4%、2カ月連続の上昇。

鉱工業生産指数

(2012年10月～2017年10月、月次)



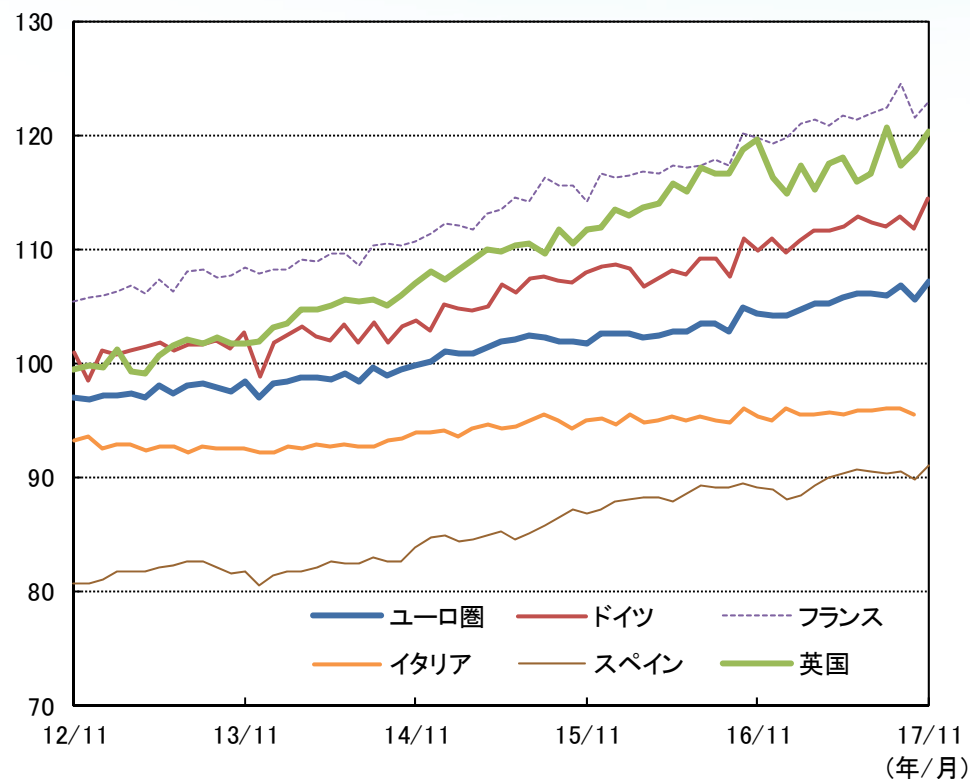
※Eurostat公表ベース

※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

小売売上高指数

(2012年11月～2017年11月、月次)



※イタリアは2017年10月までのデータを使用

※Eurostat公表ベース

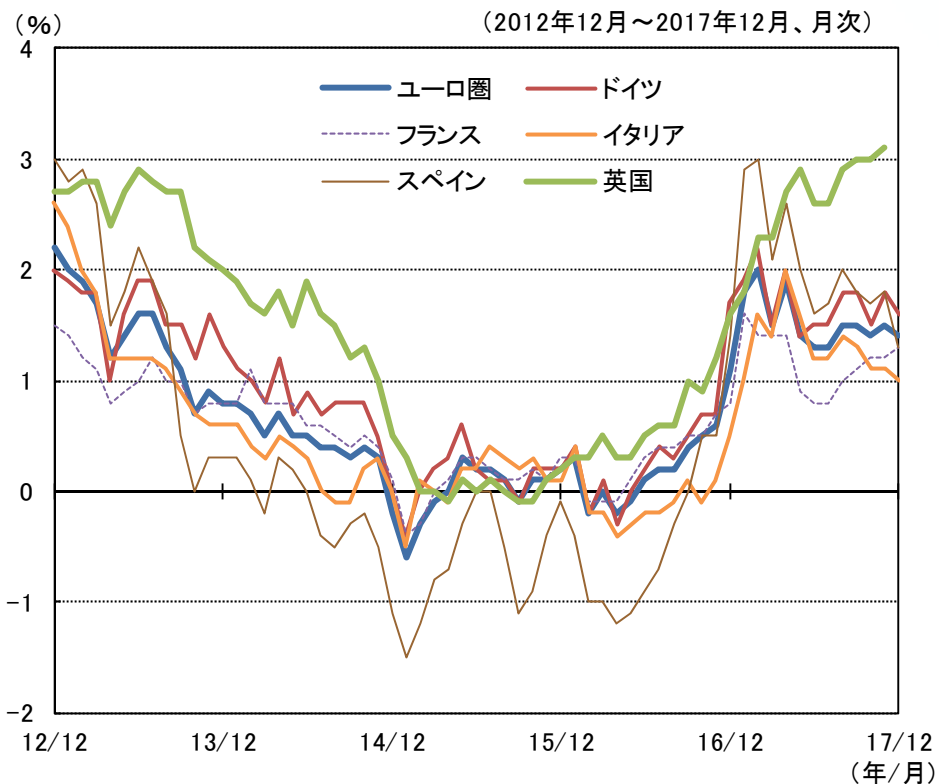
※季節調整済み

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州経済③

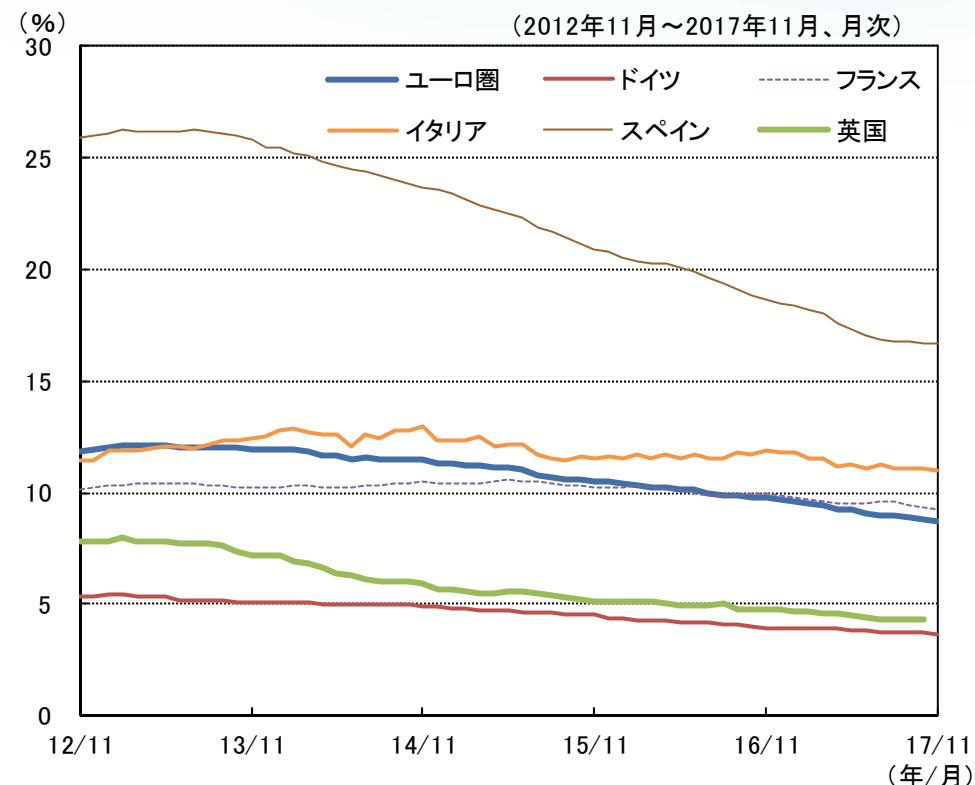
○消費者物価指数は、ユーロ圏(12月、速報値)は前年同月比+1.4%、前月の+1.5%から伸びが減速。英国(11月)は同+3.1%、前月の+3.0%から伸びが加速。
 ○失業率は、ユーロ圏(11月)は前月から0.1%改善の8.7%、2009年1月以来の低水準。英国(2017年8月-10月)は4.3%、前月発表値(2017年7月-9月)と変わらず。

消費者物価指数(前年同月比)



※英国は2017年11月までのデータを使用
 ※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

失業率



※英国は2017年8月-10月までのデータを使用
 ※Eurostat公表ベース。ただし、英国は英国統計局公表ベース(国際労働機関基準)
 ※季節調整済み
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州金利・株式

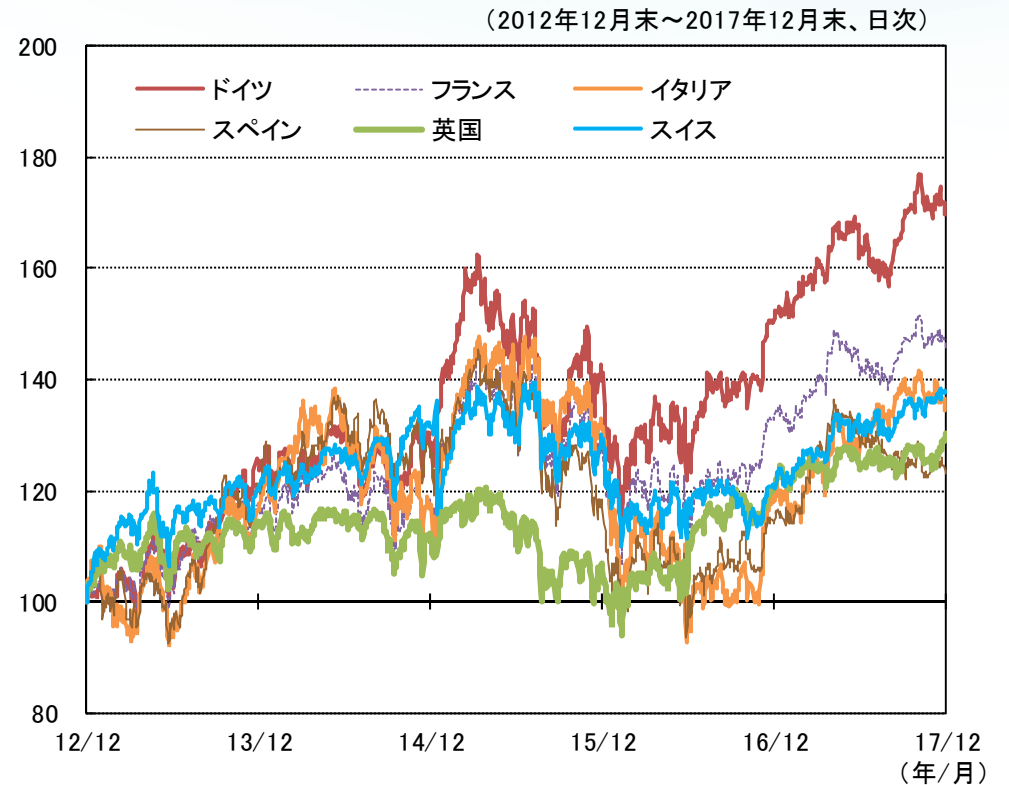
- 欧州の10年国債利回りはユーロ圏ではギリシャを除いて概ね上昇。ドイツの国債増発計画が懸念された。英国は低下した。
- 欧州株式は英国、スイスが上昇した一方、ユーロ圏は総じて下落。ユーロ高や域内の政局不透明感の高まりが重石となった。

欧州各国の10年国債利回り



(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

欧州各国の株価推移



※ドイツ:DAX、フランス:CAC40、イタリア:FTSE MIB、スペイン:IBEX35、

英国:FTSE100、スイス:SMI

※グラフ開始日を100として指数化

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。